

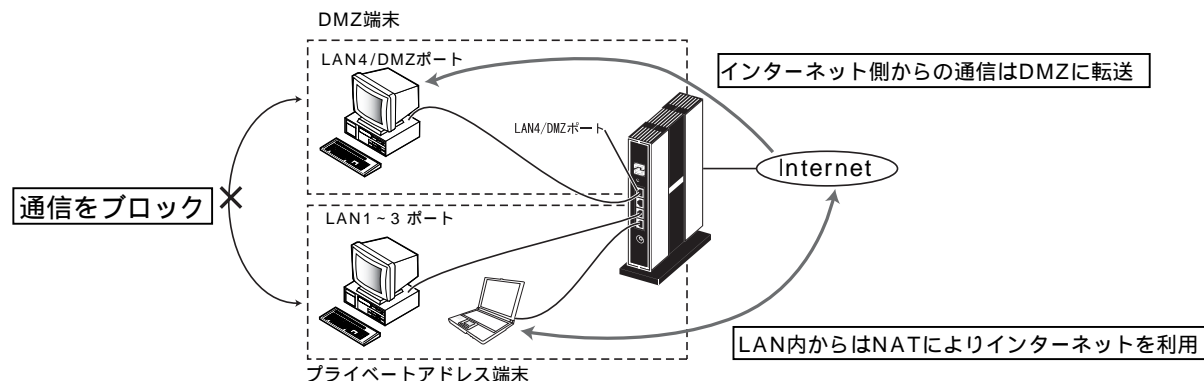
【参考】LAN4/DMZポートを利用したDMZ環境の構築

LAN内のネットワークと外部ネットワーク間にLAN内への侵入を阻止する目的で設けられるサブネットをDMZと言います。通常、外部に公開するWWWサーバなどをDMZに設置します。本機器ではGapNAT機能を利用して、LAN4ポートをDMZポートをDMZとして運用することができます。DMZは以下のような概念を持つネットワークです。

インターネット側から開始された通信は、DMZネットワークに依存するパソコン（GapNAT使用時は1台、マルチGapNAT使用時は複数台）に転送出来ます。

DMZポートと他のLANポートとは、相互に通信出来ません。

LAN内のパソコンからは、NAT機能によりインターネットを利用出来ます。これらの仕組みにより、インターネット側からDMZへ侵入された場合でも、DMZと他のLANとの通信は遮断されているため、DMZ経由でLANへの侵入は出来ません。これによりインターネット側からの侵入は、DMZまでで食い止めることが出来、外部に公開していない他のLANに存在するパソコンは、侵入者から保護されます。本機器はDMZに対する通信に関して、フィルタリングによる制限を設ける簡易的なファイアウォール機能を搭載しているため、更に安全性が高まります。



MN8300では簡単な設定で、上記のようなDMZ環境を構築できます。

平成15年8月

株式会社 エヌ・ティ・ティ エムイー